国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和６年９月１１日
東北地方整備局
秋田河川国道事務所
新庄河川事務所
秋田県
山形県

令和６年７月２５日の大雨による堤防決壊等を受けて「第２回堤防調査委員会」を開催します。

令和6年7月25日の大雨により、子吉川（こよしがわ）及び支川石沢川（いしざわがわ）、最上川（もがみがわ）及び支川新田川（にったがわ）、野尻川（のじりがわ）で、堤防決壊等の被害が発生しました。

これら堤防決壊に至った原因を究明するとともに、復旧工法の検討を目的とした、「堤防調査委員会」を設置しました。

第2回は、子吉川・最上川堤防調査委員会を合同で行います。

※子吉川堤防調査委員会　：　7月27日に第１回を開催

※最上川堤防調査委員会　：　7月31日に第１回を開催

記

１．開催日時

令和６年９月１３日（金）　１４：００～１６：３０

２．開催場所

東北地方整備局１３階　水災害予報センター（別紙－１）
（仙台市青葉区本町３－３－１　仙台合同庁舎Ｂ棟）

３．委員

別紙－２のとおり

４．取材関係

・報道機関に限り取材可能とし、事前の登録は不要です。
・取材は「別紙－３　次第４．委員長挨拶」までとし、会議後に取材対応時間を設けます。
（委員会終了時刻は予定時刻と前後する可能性がありますのでご了承ください。）
・会議での配付資料等は後日、東北地方整備局ホームページに掲載します。
・ただし、今後予定されている検討業務や工事の発注における技術提案等に影響を及ぼす恐れがある内容が含まれる場合等は、非公開とさせて頂くことがあります。

５．その他

・受付場所　東北地方整備局１３階　水災害予報センター　入口
・受付時間　１３：３０～１３：５０まで

＜発表記者会＞

宮城県政記者会、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

問　い　合　わ　せ　先

【出水全般に関すること】

国土交通省　東北地方整備局　河川部 河川計画課長　諸橋（もろはし）　拓実（たくみ）　（内線 3611）

TEL 022-225-2171（代表）

【子吉川水系の河川（国管理区間）に関すること】

国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所　技術副所長　成田（なりた）　正喜（まさき）　（内線 204）

TEL 018-823-4167（代表）

【子吉川水系の河川（県管理区間）に関すること】

秋田県　建設部　河川砂防課長　高杉（たかすぎ）　英幹（ひでみき）　（内線 64721）

TEL 018-860-1111（代表）

【最上川水系の河川（国管理区間）に関すること】

国土交通省　東北地方整備局　新庄河川事務所　技術副所長　畑井（はたい）　言介（げんすけ）　（内線 204）

TEL 0233-22-0251（代表）

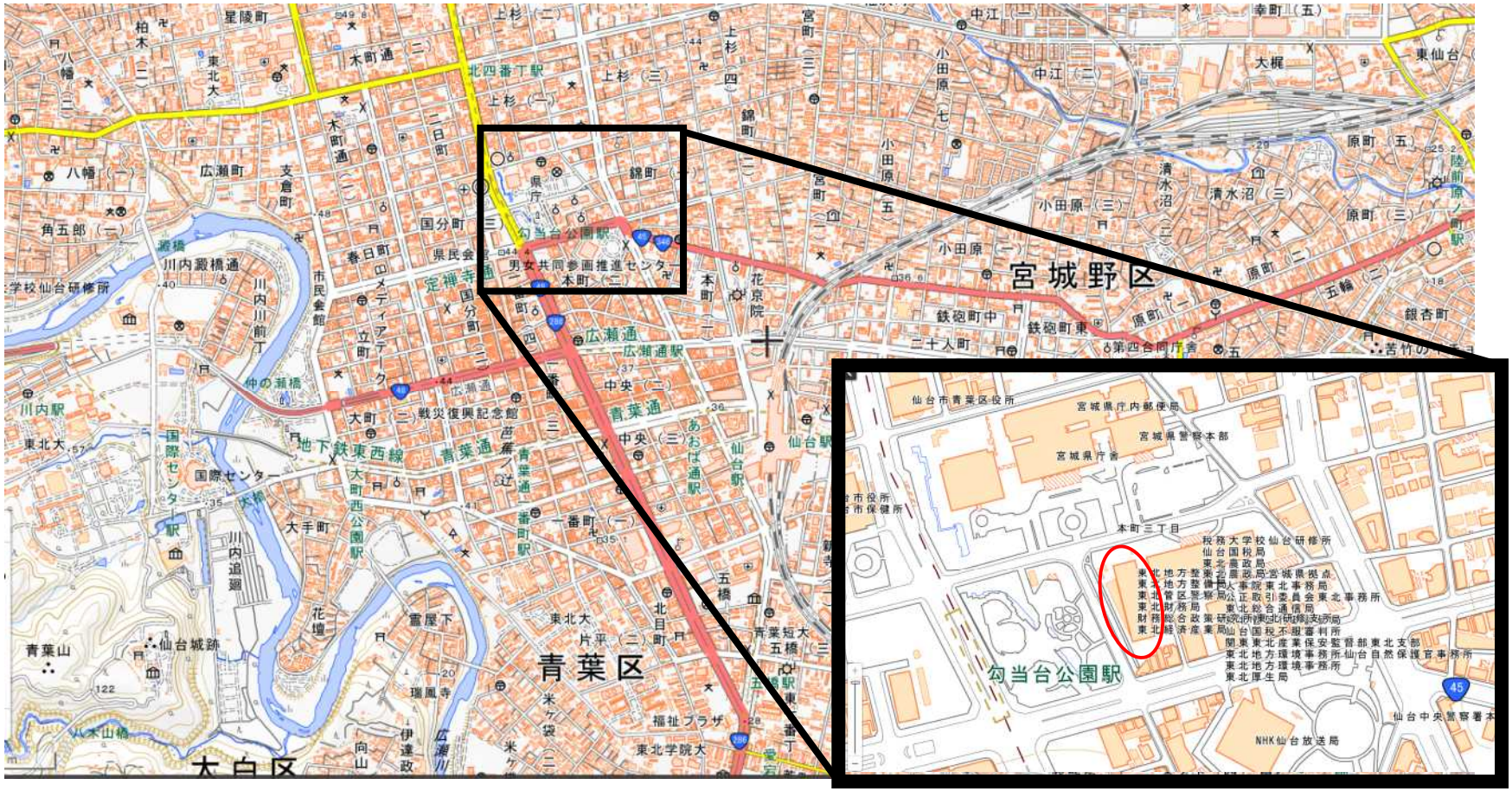
【最上川水系の河川（県管理区間）に関すること】

山形県　県土整備部　河川課長　佐藤（さとう）　崇（たかし）　TEL 023-630-2620（直通）

別紙－1

第2回　子吉川・最上川堤防調査委員会　会場案内

会　　場　東北地方整備局13階　水災害予報センター
（仙台市青葉区本町3－3－1　仙台合同庁舎B棟）



- 受付日時　令和６年９月１３日（金）１３：３０～１３：５０まで
- 受付場所　東北地方整備局１３階　水災害予報センター　入口
- 当日、受付にて必要事項を記入の後、係員の指示により会場へ入場をお願いします。

出典：地理院地図に場所等を追記して掲載

別紙－２

子吉川堤防調査委員会　委員名簿

氏　名	所属・役職
石原　雅規	国立研究開発法人　土木研究所 地質・地盤研究グループ　上席研究員
風間　聡	東北大学大学院　工学研究科　教授
瀬﨑　智之	国土交通省　国土技術政策総合研究所 河川研究部　河川研究室　室長
松冨　英夫	秋田大学　名誉教授
山田　正太郎	東北大学大学院　工学研究科　教授

敬称略、50 音順

最上川堤防調査委員会　委員名簿

氏　名	所属・役職
石原　雅規	国立研究開発法人　土木研究所 地質・地盤研究グループ　上席研究員
風間　聡	東北大学大学院　工学研究科　教授
瀬﨑　智之	国土交通省　国土技術政策総合研究所 河川研究部　河川研究室　室長
山田　正太郎	東北大学大学院　工学研究科　教授

敬称略、50 音順

別紙－３

第２回子吉川・最上川堤防調査委員会

日時：令和６年９月 13 日（金）14:00～16:30
場所：東北地方整備局 13 階　水災害予報センター

議 事 次 第

１．開会

２．挨拶

３．委員紹介

４．委員長挨拶

５．議事

（１）子吉川水系

・被災要因の検証

・意見交換

（２）最上川水系

・被災要因の検証

・意見交換

６．閉会